

市立中学校における通知表の誤記載について

鶴ヶ峰中学校において、令和3年7月20日に配付した1学期の通知表1名分について、期末テストの点数の集計ミスにより、観点別評価及び評定に誤記載があることが判明しました。学校は、家庭訪問を行い、当該生徒及び保護者に謝罪と説明を行うとともに、正しい通知表と差し替えました。

1 誤記載の内容

第1学年生徒1名の観点別評価及び評定（数学）

【観点別評価】：「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点ごとに、評価するもの。  
【評定】：各教科の「観点別評価」を総括的に評価したもの。

2 学校名

学校名 横浜市立鶴ヶ峰中学校 校長 木村 達洋（きむら たつひろ）  
生徒数：575名 教職員数：45名（8月1日現在）  
所在地 横浜市旭区鶴ヶ峰本町三丁目28番1号

3 経過

令和3年

7月20日（火）

1学期の通知表を当該生徒に配付した。

8月2日（月）

保護者から学校に、6月実施の数学の期末テストの点数の集計が違っているのではないかと問い合わせがあった。

8月3日（火）

教科担当教諭が再確認したところ、数学の期末テストの点数に集計ミスがあったことが判明した。  
その後、訂正した得点をもとに評価を見直した成績で通知表を再作成した。

同日午後、教科担当教諭が当該生徒・保護者に謝罪と説明を行うとともに、訂正した通知表と差し替えた。

4 誤記載が発生した主な原因

教科担当教諭が期末テストの得点を集計する際、正答を数え間違え、当該生徒の得点に誤りが生じました。誤った得点をもとに観点別評価及び評定を作成したことにより、誤記載が発生しました。

5 再発防止に向けた取組

- テスト返却前に、採点者が再度集計に間違いが無いかどうかを確認します。
- 定期テストの正答の数え間違いが起らないように、解答用紙のレイアウトの改善や採点の仕方を見直す等、学校全体で、同様の事案の再発防止に努めます。
- 本事案を踏まえて、校内作成の通知票の誤記載防止のための手順書を見直し、教務担当教諭が中心になって、校内全教員での誤記載防止研修を実施します。

お問合せ先

教育委員会事務局西部学校教育事務所 指導主事室長 増田 伸子 Tel 045-336-3719